

ふるさと 通信員だより

vol.184



私が町内の身近な
話題を紹介します♪

たかだ てつこ
高田徹子通信員

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介します。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



2019年度立命館大学坂田ゼミ(坂田謙司教授、学生6人)、昭和小学校(大庭奈緒子校長、児童13人)、帯広大谷短期大学阿部ゼミ(阿部好恵准教授、学生12人)の交流会が昭和小体育館で開催されました。

自己紹介の後、6グループに分かれアキレスケンタウルス体操や、それに児童を乗せ学生が引く、ばんば競争など、5種類の競技で汗を流し交流。後半は、3グループに分かれて西陣織のちぎり絵に挑戦しました。坂田ゼミが用意した3〜4cmに切った布を同小を描いた下絵にボードで貼り付けると金襴の豪華な作品に仕上がりました。

※金襴:金糸を織り込んで模様を出した布

📷
金襴の豪華な作品に
なつたよ



音更福祉事業協会(白木幸久理事長)が、日本財団から、へき地保育所(豊田、昭和、東土幌)で運行する小型バス(定員園児12人、大人2人用)の寄贈を受け、豊田へき地保育所(園児4人)で、お披露目式を行いました。白木理事長が「さまざまな形で利用したい」とあいさつ。園児を代表して中田美緒さん(4)が「バスをくれてありがとう。」とお礼を述べました。バスに描いた、花やチョウなどをデザインしたデザイナーの重野真希さん(鹿追在住)も「思い出をたくさんつくってね。」とあいさつ。園児たちは、早速バスに乗り込み、小さな椅子やおしゃれな色合いに歓声をあげていました。

📷
新しいバスに歓声